

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 テイン

コード番号 7217 URL <http://www.tein.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市野 諒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 那須 賢司

TEL 045-810-5511

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,625	△36.5	43	△79.3	34	△85.4	△100	—
21年3月期第2四半期	2,558	—	210	—	237	—	129	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△18.31	—
21年3月期第2四半期	20.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,414	2,665	78.1	487.64
21年3月期	3,506	2,835	80.9	518.66

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,665百万円 21年3月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	7.74	7.74
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.58	0.58

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,245	△8.3	△42	—	△45	—	△206	—	△37.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 天御遠東国際貿易(北京)有限公司) 除外 1社 (社名)
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	6,652,250株	21年3月期	6,652,250株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,185,450株	21年3月期	1,185,450株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	5,466,800株	21年3月期第2四半期	6,378,476株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした景気の持ち直しや政府による景気刺激対策等の効果により大企業などの一部の企業においては回復の兆しが見られました。しかしながら、北米や欧州地域において世界的な景気後退の影響が持続しており、また国内の雇用情勢は更に悪化し、失業率は過去最悪の水準となるなど、雇用や所得への不安による生活防衛意識の高まりは依然として高く、経済環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

内外のカーアフターマーケットにおきましても、前述の景気環境を背景として、さらには円高の影響などもあって厳しい販売環境となりました。サスペンションは元より全ての業界・業種にわたって、各種の買い控え傾向や節約志向などの個人消費低迷の煽りを受け、国内外を問わず深刻な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、国内においては「車高調下取りキャンペーン」と称するユーザ向けキャンペーンを始め、B to B キャンペーンなど各種の販売施策を実施するとともに、販売が好調なハイブリッド車を始めとする環境対応車向け専用製品を市場投入し、合わせて試乗会も実施するなど、市場の活性化に努めてまいりました。

海外市場においても、各地域の特性等を考慮した各種のキャンペーンをおこない、特に中国地域では本年5月に開設した現地子会社「天御遠東国際貿易（北京）有限公司」のサービス拠点を広州に併設し、「天御香港有限公司」の販売活動を強力にサポートするなど、相互連携によるグループの総合力を活かした活動にも注力いたしました。

製品開発につきましては、前述の環境対応車向け製品に先立ち、苦戦する新車販売状況の中で、比較的に好調な軽自動車向けのフルスペックモデル「FLEX-K」の発売を開始いたしました。

他方、急激に変化する市場環境に適応するための生産調整やフレキシブルな生産体制の検討などが奏功し、棚卸資産については大幅な減少を実現いたしました。

しかしながら、景気に対する先行きの不透明感は世界規模で消費者マインドに影響を及ぼしており、経済情勢が比較的好調な中国においても高額自動車用品の買い控え傾向が見られ、昨年好調であった東ヨーロッパでも販売は低迷いたしました。前四半期に引き続き、これらの国内外の様々な地域における販売活動が苦戦を強いられた結果、当第2四半期の連結売上高は1,625百万円（前年同四半期比△933百万円、36.5%減）、経常利益34百万円（前年同四半期比△203百万円、85.4%減）となりました。また、現段階では当期末での十分な課税所得が見込めないことが予想されるため、当第2四半期において繰延税金資産を取崩すことといたし、四半期純損失は100百万円（前年同四半期129百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ91百万円減少し、3,414百万円となりました。なお、現金及び預金は、前連結会計年度に比べ586百万円増加し、1,367百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ78百万円増加し、749百万円となりました。これは主として、買掛金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ169百万円減少し、2,665百万円

となりました。これは主として、利益剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ586百万円増加し、1,267百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は649百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上34百万円、減価償却費60百万円、売上債権の減少額88百万円、たな卸資産の減少額348百万円、仕入債務の増加額83百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は11百万円となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は42百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国発の金融危機に端を発した世界的な景気の低迷に底打ち感が見られ、また国内においてはエコカー減税等を始めとする景気刺激対策などもあって回復の兆しが見られますものの、現状においてその基調は極めて緩やかなものとなっております。当社の属するカーアフター用品市場におきましては、自動車メーカーへ納入する部品市場と異なり、その回復にはさらに一定の期間を要することが予想されます。このため、通期の売上高については、当面厳しい展開が継続することが予測されることから、計画を下回る見通しとなりました。

また損益につきましては、このような経営環境の中、徹底した固定費や経費の削減、また生産体制の改革などを引き続き鋭意推進いたしますが、前述の売上高の減少に伴う売上総利益の減少を補うまでには至らず、また第2四半期において繰延税金資産の取崩しをおこなったことなどもあり、営業利益、経常利益、当期純利益が計画に対して下回る見通しとなりました。

このため、平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に発表いたしました予想から、連結、個別ともに修正しております。詳細は本日発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本予想につきましては、本資料の発表の日現在において入手が可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規：天御遠東国際貿易（北京）有限公司

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した天御遠東国際貿易（北京）有限公司を連結の範囲に含んでおります。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,367,053	780,637
売掛金	192,908	282,997
商品及び製品	793,161	1,036,448
仕掛品	126,320	152,584
原材料及び貯蔵品	265,345	373,130
その他	87,812	197,395
貸倒引当金	△283	△458
流動資産合計	2,832,319	2,822,736
固定資産		
有形固定資産	364,014	423,841
無形固定資産		
その他	39,590	26,411
無形固定資産合計	39,590	26,411
投資その他の資産	179,038	233,440
固定資産合計	582,644	683,693
資産合計	3,414,964	3,506,429
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,430	80,277
その他	273,090	278,494
流動負債合計	430,521	358,771
固定負債		
退職給付引当金	122,360	119,951
役員退職慰労引当金	137,388	133,870
その他	58,840	58,400
固定負債合計	318,588	312,222
負債合計	749,109	670,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	2,732,304	2,874,745
自己株式	△406,271	△406,271
株主資本合計	2,759,335	2,901,776
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△93,480	△66,340
評価・換算差額等合計	△93,480	△66,340
純資産合計	2,665,854	2,835,435
負債純資産合計	3,414,964	3,506,429

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,558,256	1,625,171
売上原価	1,374,247	979,332
売上総利益	1,184,009	645,839
販売費及び一般管理費	973,362	602,330
営業利益	210,647	43,509
営業外収益		
為替差益	7,772	—
試作品等売却収入	10,930	—
助成金収入	—	45,414
その他	10,775	12,939
営業外収益合計	29,478	58,354
営業外費用		
為替差損	—	30,316
たな卸資産廃棄損	1,582	—
自己株式取得費用	629	—
休業手当	—	23,395
その他	160	13,535
営業外費用合計	2,372	67,247
経常利益	237,752	34,615
特別利益		
固定資産売却益	3,043	—
特別利益合計	3,043	—
特別損失		
固定資産売却損	372	362
固定資産除却損	114	250
特別損失合計	486	612
税金等調整前四半期純利益	240,309	34,002
法人税、住民税及び事業税	152,209	14,194
法人税等調整額	△41,808	119,936
法人税等合計	110,401	134,130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	129,908	△100,127

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,114,921	745,959
売上原価	583,089	462,003
売上総利益	531,832	283,956
販売費及び一般管理費	461,587	300,383
営業利益又は営業損失(△)	70,245	△16,426
営業外収益		
試作品等売却収入	7,833	—
助成金収入	—	23,059
その他	5,832	5,563
営業外収益合計	13,666	28,623
営業外費用		
為替差損	22,631	25,430
金型補償損失	—	9,158
その他	2,131	6,303
営業外費用合計	24,762	40,892
経常利益又は経常損失(△)	59,148	△28,696
特別利益		
固定資産売却益	2,584	—
特別利益合計	2,584	—
特別損失		
固定資産売却損	372	203
その他	83	—
特別損失合計	455	203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,276	△28,899
法人税、住民税及び事業税	64,444	8,063
法人税等調整額	△31,182	101,061
法人税等合計	33,261	109,124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,015	△138,024

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	240,309	34,002
減価償却費	70,858	60,905
為替差損益(△は益)	—	10,482
売上債権の増減額(△は増加)	192,119	88,415
たな卸資産の増減額(△は増加)	△260,692	348,791
仕入債務の増減額(△は減少)	△126,892	83,040
未払費用の増減額(△は減少)	14,172	—
未払金の増減額(△は減少)	△74,641	—
その他	32,407	9,835
小計	87,641	635,473
法人税等の支払額	△3,988	—
法人税等の還付額	—	13,399
その他の収入	2,041	629
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,694	649,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	250,000	—
有形固定資産の取得による支出	△105,811	—
有形固定資産の売却による収入	17,422	—
無形固定資産の取得による支出	—	△17,203
敷金及び保証金の差入による支出	△14,199	—
その他	△12,808	5,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	134,602	△11,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△394,684	—
配当金の支払額	△102,837	△42,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△497,521	△42,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	455	△8,836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,769	586,415
現金及び現金同等物の期首残高	1,017,949	680,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	741,179	1,267,053

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売という単一セグメントに属する事業をおこなっているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売という単一セグメントに属する事業をおこなっているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,783,676	545,825	228,754	2,558,256	—	2,558,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	687,644	1,062	18,248	706,955	△706,955	—
計	2,471,320	546,888	247,003	3,265,212	△706,955	2,558,256
営業利益又は営業損失(△)	227,885	43,866	△1,752	269,999	△59,352	210,647

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

北 米 : アメリカ

その他 : イギリス、香港、台湾

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,127,420	323,474	174,277	1,625,171	—	1,625,171
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	217,469	315	306	218,092	△218,092	—
計	1,344,889	323,790	174,584	1,843,264	△218,092	1,625,171
営業利益又は営業損失(△)	△42,187	24,348	10,430	△7,408	50,917	43,509

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

北 米 : アメリカ

その他 : イギリス、中華人民共和国

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア・オセアニア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	545,825	357,399	188,638	1,091,863
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,558,256
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	21.3	14.0	7.4	42.7

- (注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。
 北米 : アメリカ、カナダ
 アジア・オセアニア : 香港、台湾、オーストラリア
 欧州 : イギリス
 3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア・オセアニア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	323,474	219,588	109,107	652,170
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,625,171
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.9	13.5	6.7	40.1

- (注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。
 北米 : アメリカ、カナダ
 アジア・オセアニア : 香港、タイ
 欧州 : イギリス
 3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし